



遠矚の丘

由利本荘市立子吉小学校
学校だより
第10号
令和4年8月24日発行

<教育目標>
「ふるさとを愛し
明るい未来を切り拓く
子どもの育成」
「かしこく ゆたかに たくましく」

今年、3年ぶりに行動制限のない夏休みとなりました。いろいろな行事も久しぶりに再開され、たくさんの感動をもらうことができた夏でもありました。一方で、大雨による土砂災害等の被害やコロナ禍の悪化の状況もあり、大変心配な面もあり複雑な心境であります。

そんな中ではありますが、約1か月の夏休みを終えて、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。夏休みは家族とゆっくり過ごしたり、友達と楽しく遊んだりした人も多いと思います。また、宿題や自由研究など、自分のアイデアを生かして一生懸命取り組んだことと思います。夏休み明けは、前期のまとめの大切な時期でもあります。勉強にスポーツ、係活動などに積極的に取り組んでほしいと思います。保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、「夏休み作品展(8/26~8/31)」ですが、コロナ感染の状況を考慮し、今年度も保護者の皆様のご観覧は行いませんので、ご了承・ご理解をよろしくお願いいたします。

夏休み明け集会(8/24)

夏休み明けの全校集会では、校長あいさつに引き続き、市民水泳交流会や席書大会などの表彰を行いました。

下記に紹介いたします。



《「校長あいさつ」より 抜粋》

この夏は、特別な行動制限もなく旅行や久しぶりの行事の開催など、これまで我慢していて3年ぶりに可能になったこともたくさんあったのではないのでしょうか。

全国高校野球選手権大会、いわゆる「夏の甲子園」もその一つです。

グラウンドの中ではじける選手はもちろん、スタンドで応援する人たちの姿を見るたびに、いつもの甲子園が戻ってきたなあとうれしく思いながら毎日のようにテレビ観戦をして心躍らせていました。今年の甲子園は、仙台育英が東北地区に初めての優勝旗を持ち帰ることができたうれしい記念の大会となりました。



また、由利本荘市の小学校出身の選手が2人も出場していると知って、さらに、その小学校が「小友小学校」と「石沢小学校」という子吉小のすぐ近くの小学校の出身ということで、親近感がわき応援にも力が入りました。

福島県代表の聖光学院の山浅龍之介(やまあさ りゅうのすけ)選手と岩手県代表の一関学院の小杉晟(こすぎ せい)選手です。2人共チームの軸でした。堂々とプレーする姿に、本当に勇気づけられました。

特に、山浅選手はネット新聞などでも取り上げられるほど、将来が期待されている選手です。しかし、山浅選手を報じる記事の見出しには、「野球人生最大の挫折を乗り越え、聖光学院・山浅龍之介が目指す世代ナンバーワン捕手の座」とあり、「最大の挫折」とは何だったのだろうかとも気になり、記事の内容をしっかりと読んでみました。

「最大の挫折」とは、昨年の夏の福島県大会の準々決勝で4点を追う最終回のチャンスの場面で、最後のバッターとして打席に立ち三振してしまったプレーのことでした。実は、この敗北は聖光学院にとってはただの負けではなく、夏の福島県大会13連覇を止める大きな出来事だったのです。この偉業を「自分のせいではめた…」という思いと、周りからのプレッシャーが大きいのしかかりつぶれかけた事件でした。克服に至るまでの苦悩はたくさんあったものの、最終的には、その苦しさを無理に振り払うのをやめたことが、克服の大きな力になったと記事は伝えていました。具体的には、寮の部屋に敗戦の記事を貼ったり、スマホには屈辱を味わった日の画像をすぐ見える位置に残したりしたそうです。さらに、知人からは自分が三振した瞬間やバッターボックスで泣き崩れる写真をもらうなど、真正面から向き合ったということでした。

逃げるより、受け入れる。つまりは、苦難に立ち向かうことを選択したことが、克服につながったということです。「向き合えないと前に進めないで…」と語るその頃の山浅選手は、精神的にもたくましくなり、今年の福島県大会では、4割を超える打率を記録するなどの活躍を見せ、この夏の甲子園の活躍につながっています。

いろいろな困難に対しても失敗を受け入れて、それを力に変えて乗り越えていくことの大切さを改めて感じることができました。失敗を受け入れることに加え、簡単にあきらめないこと、そして、続けることの大切さにもつながるように、私は感じました。山浅選手の今後の活躍にも、目が離せないように思いますし、これからも応援していきたいと思います。

この後、少し暑い日も続き、さらにコロナの影響もあり、勉強やスポーツ、係活動など、いろいろと苦勞することもあるかもしれませんが、みんなで一緒にがんばっていきましょう。

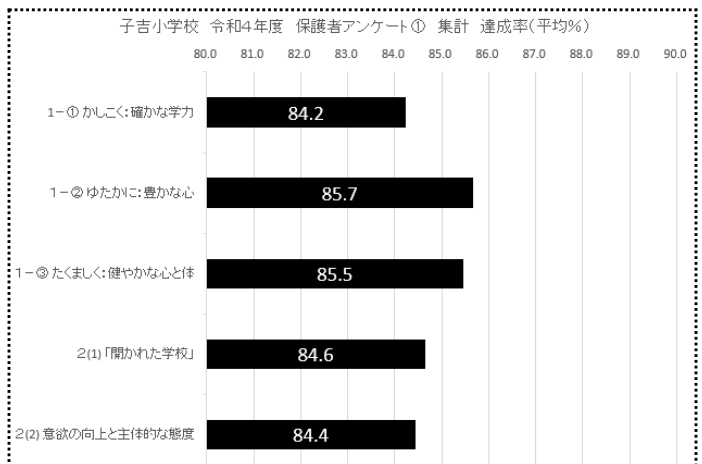
最後に、「子吉小学校の宝」である「あいさつ」への取組にも期待しています。自分から進んで、元気に、明るく、さわやかにあいさつができる皆さんの姿を期待していますので、頑張ってください。よろしくお願いいたします。

「保護者アンケート①」へのご協力ありがとうございました。“平均85.0点前後 ⇒ 概ね良好?”

7月に実施した「保護者アンケート①」の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

アンケートに盛り込んだ項目は、「目指す子どもの姿」として整理した「1-①かしこく、1-②ゆたかに、1-③たくましく」の3つの項目と、本校の重点としている取組「2-(1)開かれた学校」、「2-(2)意欲の向上と主体的な態度」でした。

それぞれの項目については、回答類型「4 思う、3 ややそう思う、2 あまりそう思わない、1 そう思わない」から選択してご回答いただきました。そして、満点を4点として平均を算出しました。わかりやすく示すために100点満点（4点を100点）として換算し達成率（%）として示したのが右上のグラフになります。



すべての項目について85%前後の結果を得ることができました。全体的に概ね良好とは考えておりますが、2-(1)(2)の項目についての今年度の目標の数値は、昨年度(80%)よりも高い90%として設定しているため、さらに推進が必要だと考えているところです。

学校の様々な情報の提示や保護者や地域との連携、子どもたちの主体性の育成を目指した指導の工夫など、さらに力を注いで参りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

また、この他の「3 子吉小学校の児童や学校のよさを感じること」、「4 日頃感じている改善してもらいたいこと」についてのご意見等につきましては、今後掲載させていただきますのでご了承願います。

「第25回 本荘由利小学生水泳交流会」開催!

8月20日(土)に、3年ぶりに「本荘由利水泳交流会」が開催されました。本校からは、子吉スイマーズ38名の中から8名が出場しました。50m平泳ぎと50mバタフライに参加した佐藤さんは、どちらも第1位というすばらしい結果をおさめることができました。

入賞や参加できなかったみなさんも、夏休みの朝の時間を有効に使って一生懸命に練習しました。子吉スイマーズの皆さんの頑張りに心から拍手を送ります。



「栄光の記録」表彰しました!(8/24)

【第63回全県席書会都市大会】

- ◇ 半紙の部【金賞】
小松(6年)、池田(5年)
工藤(5年)、佐々木(5年)
畠山(4年)
- ◇ 硬筆の部
石川(2年)、松岡(1年)
高橋(1年)

【第25回本荘由利水泳交流会】

- ◇ 第1位 佐藤(5年) 50m平泳ぎ
- ◇ 第1位 佐藤(5年) 50mバタフライ
- ◇ 第6位 小番(6年) 50m自由形
- ◇ 第7位 佐々木(5年) 50m平泳ぎ
- ◇ 第7位 阿部(4年) 50m自由形
- ◇ 第8位 佐藤(4年) 50m自由形

9月の主な行事予定

- 1日(木) 読み聞かせ
- 6日(火) クラブ
- 8日(木) 6年 修学旅行(～9日)
- 10日(土) 第50回科学作品展(～11日)
※ カダーレ内1階ギャラリー 10:00～17:00
- 13日(火) 5年 自然教室(～14日)
- 14日(水) 全校計算テスト
- 15日(木) 読み聞かせ・ベルマーク

- 16日(金) 芸術鑑賞(下学年)、委員会
- 19日(月) 敬老の日
- 20日(火) 職員会議
- 21日(水) 授業研究会
- 22日(木) 芸術鑑賞(下学年)
- 23日(金) 秋分の日
- 27日(火) 学校保健委員会
- 28日(水) 3年 学ぶんチャレンジプログラムツアー
全校漢字テスト

※ 本日、「**新型コロナウイルス感染症の急拡大への対応**」という「パンフレット」を配布しました。

これは、秋田県教育委員会より依頼されたものです。必ずご確認いただきますようお願いいたします。なお、該当する場合の各対応についてご活用くださいますようお願いいたします。